特 集

強みと、強化しなければならないめている。JERAのIT部門のめている。

会(ITGI)が提唱するITガ

ナンス向上のフレームワー

るISACA、ITガバナンス協

得るわけにはいかないので、内部トになる。この能力を外部委託で

信技術専門家の国際的な団体であ 分野は、まだ発展途上だ。情報通

だ。COBITには、45のプロセポイントを再定義している最中

4つ考えている

キャリア採用を強化するなどの策

めに必要なのは、優秀な従業員だ。

「この4つの目標を実現するた

まずはICT部門と

理解した上で、ICT部門として

JERAの業務は何が本質なのか

の構築だ」

となるデジタルプラットフォー 力を向上させる。4つ目は、

従業員のプロジェクト管理能

主管部が何を目指しているのか、 リソースを育てる。きちんと業務

人が存在する。それぞれに明確な

ERAの腕の見せどころだ」 ミッションをやり通せるかが、J

「とりわけ私の担当するICT

困難の中で、

いかに自らの掲げた

がJERAの業務の本質を理解し部分を答える。それはICT部門JERAのICT部門に足りない

「私は基本辛口な人間なので、

ていない点だ。それを理解しない

ICT部門として業務主管部

ない。これはICT部門で働く人とのキャッチボールがうまくでき

間には必須で、強化すべきポイン

ているが、腰を据えてやる。このいる。『再エネに逆風』と騒がれ

電

ってビジネスとして成り立たせる

能エネルギーについても、どうや

にしい。 はして、満足は部分を教えてと、不満足な部分を教えてと、不満足な部分を教えてといる部分

ィンフレーションに苦しむ再生可

様々な投資案件の資金をどう

かがポイントになる。再エネはあ

くまでも、2050年を見据えて

ほしい。など率直に感想を聞かせて

のICT部門は、ワー

ルドクラス

「 JERA 全体を 見ると、

海外

を目指している。そうであるなら

に変貌する。JERAは世界企業

かしくない組織にすべきだ」ば、ICT部門も世界に出て

ICT部門も世界に出て恥ず

務や、日産自動車のC―〇ング(現アクセンチュア)勤

足りない。必ずしも45項目全てを

達成する必要はないが、優先順位

一定の期間内に何を達

る程度は達成できているが、まだメトリックが定義されている。あ

などを経て、2024年4

アンダーセン・コンサルティ

調達するかが課題となっている。 的に展開している印象だ。その中 展開をものすごいスピードで積極

になるが、JERAの印象た。就任からもうすぐ1年行役員・CIOに就任し月1日、JERAの常務執

で行う仕事を決める。これをうま

直営で行うべき仕事と、外部委託 成すべきか明確化する。その上で、

く回すことができれば、JERA

JERA

ICTの取り組み

の改革を積極的に行っている。日 産自動車の元CIO(チーフ・イ ンフォメーション・オフィサー) として、カルロス・ゴーン氏の下 で | 丁改革を推進した行徳セルソ 氏が、CIO兼CISO(チーフ ・インフォメーション・セキュリ ティー・オフィサー)に就任。J ERAのICT部門を、ワールド クラスに育てたい考えを示してい JERAのICT部門の現状

JERAのICT部門が、攻め

評価や、今後のビジョンを聞いた。

行徳 セルソ氏 SO

インタビュー

生産性、

得られるのか徹底的に分析する。 そのためにも繰り返しになるが、 投資に対してどれだけリターンが ではない。特定の業務効率化のた るサービスは、手段であって目的 ICT部門としてJERAの業務 めに提供する。そういう意味では、 してのビジネス・アライメント (連携)だ。ICT部門が提供す

るか、ポート ードアウト_ RAの持っているアプリケーショ議論ができない。2つ目は、JE ンの把握だ。ロードマップを作成 し、どのアプリケーションをフェ ポートフォリオの最適化が し、何を新たに導入す

を推進する。外部委託は悪ではなこれからはベンダーマネジメント いが、 必要になってくる」 「3つ目は外部委託の最適化だ。 ベンダーをしっかり評価し

もしっかり付いてくる。JERAがしっかりしていれば、ベンダー改革を進めたい。また、発注者側 改革を進めたい。また、発注者即ウィンウィンの状況になるよう、 側がダラダラ仕事をするのではな る。仕事を依頼するベンダーの数 も減らす。JERAとベンダーが いるか評価するプロセスを設け 彼らが本当に我々に貢献して する部分にある。ICTに配属しは、優秀な新卒社員が次々と入社考えている。特にJERAの強み 策を実現していく」

でいるが、対策はあるか。も慢性的な人手不足に悩ん――CTに限らず、どの部門

はない。そもそも、
言っても、問題が解 て、ウィンウィンで継続的に仕事要だ。しっかりとベンダーを絞っする。ベンダーマネジメントも重 いるか理解できていないと、デジ分の業務について、何を目指して 責任を持たせる。これまではベン を発注できる体制に変え、ベンダ -に自身のアウトプットに対する 人財の量を確保しても空回り 『人が足りない』と繰り返し 問題が解決するわけで 一人一人が自

ップだ。次のステップでは、各事これはあくまでもファーストステミれはあくまでもファーストステリストを開するが、第入し、25年度中に稼働するが、 のか検討する。マーケ業部にどういう管理会 「 ERP (基幹シス シットのボライ計が必要な (テム) に、 かが腕の見せどころだと思う。J事だ。2人の思いをどう実現する戦略を実行するのが、CIOの仕戦略を実行するのが、CIOの仕 ラスの組織に変えたい」 ERAのICT部門をワー

理解してもらい、またICT部門いったプロセスで回しているのか 日々こなしているか、業務をどう CT部門の若手の派遣だ。主管部 T部門に興味がある人財を引き抜 門が、どういった思いで仕事を る手法のほか、主管部門側でIC くことも考えられるが、王道はI た若手を主管部門に派遣して育て に戻ってきてほしい。こうした施

府と連携をしながら、日々能力をィカルなインフラ企業のため、政だ。とりわけJERAは、クリテバーアタックが急増するのは自明 向上させている」

は。 ブン企業変革の進捗状況が推し進めるデータドリ CEO(最高経営責任者) 可児行夫会長・グローバル

今後の目標、抱負はあるか。

「可児、奥田両CEOの描いた

ールは、一CT部門の人財業務主管部とのキャッチボー繰り返し言及していたが、

ルで引き上

CT部門と他部門との人事交流を 会社全体が進化する中で、ICT 部門やそこで働く人財が進化する 須だ。主管部門のニーズを踏まえ 必要がある。その秘策として、 た仕事を進めなければならない に不可欠な要素か。 バルで戦うためには必 ベンダー社員とJERA社員を一ら、ベンダーを評価したい。また、っていた。アウトプットを見ながダーの数が多く、責任が曖昧にな たい」を理解させる必要がある AのICT社員に会社全体の業務 ージで人財育成を進める。JERみ)の技を弟子が学ぶようなイメ させたいと思っている。匠(たく 緒に仕事をさせ、ノウ

ハウを吸収

営判断に役立てたい。これでコス

トセンターとプロフィットセンタ

が明確になるだろう。例えばJ

電所などからできるだけリアルタ

-タを集めて提供し、経

ERAが締結しているPPA(電

ると言った 能力を求め

「グロー

った。 ュリティーも見ることにな担務となり、サイバーセキ 担務となり、サイバーセキCーOに加えてCーSOも

てくれるだろう。1

とともに、従業員の生産性を上げ 経営会議の議論の精度が向上する を構築する。デジタル化によって で集め、分析し、判断する仕組み る。様々なデータをリアルタイム

バーアヌッァ 3 でなが、今まさにる。より良くするため、今まさにる。より良くするため、今まさにる。より良くするため、今まさに キュリティーの対応を進めてい レームワークを活用し 「JERAではグロ しながら、セローバルなフ 生産性を上げることが、デジタル 化の大きな目的だ」

に振らないで、スキルアップ、キリスれている。このチャンスを棒り入れている。このチャンスを棒り入れている。このチャンスを棒がでも、新しい技術を積極的に取り入れている。ICT分を業はあまりない。皆さんにはチ CIOを目指してほしい。JERう、スキルを高めてほしい。ぜひ、 Aほど積極的に IT投資する 日本

「将来、CIOに就任できるよ

に伝えたいことはあるか。JERAの一CT部門社員

ャリアデザインに励んでほしい」

